

4 議 第 8 4 号

令和4年9月28日

大町市長 牛 越 徹 様

大町市議会議長 二 條 孝 夫

議会との意見交換会で出された要望について（依頼）

大町市議会では、議会基本条例の規定に基づき、市民との意見交換会を実施していますが、7月27日に美麻地域のエネルギーを考える会と意見交換会を開催したところ、議会に対し要望をいただきました。

いただいた要望について整理、集約した結果、別紙のとおり議会の意見を付して行政に送付することにいたしましたので、行政の見解や対応等についてご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、いただいた回答は議会だより、ホームページ及び今後の意見交換会の資料として活用する予定ですので予めご承知おきください。

出された要望	市議会の意見	行政の見解・対応
<p>1. 2050年までに二酸化炭素排出量ネットゼロへの具体的計画を官民協働で立て、市民が参加しやすい方法で具体化すること。そのために市議会は主導的役割を果たすこと。</p>	<p>行政へ送付</p> <ul style="list-style-type: none"> 市議会も、本年3月に策定した大町市ゼロカーボンシティ宣言等を踏まえ、その理念達成のための具体的な取組みについて、行政とともに研究していく。 	
<p>2. 森林資源に恵まれた大町市では木質バイオマスエネルギーの活用が重要と思われる。森林活用を全市挙げて取り組む官民協同の体制をつくり、検討を開始すること。</p>	<p>行政へ送付</p> <ul style="list-style-type: none"> 大町市は森林資源に恵まれており、木質バイオマスエネルギーの活用は市の大きな課題である。本年3月には大町市ゼロカーボンシティ宣言をしており、SDGsの目的にも合致している。官民協同の体制による更なる活用へ向け検討されたい。 	
<p>3. 二重市民農園の管理棟のボイラーが更新時期を迎えており、バイオマスボイラーの導入の可能性について検討を始めること。また森林教育の拠点など、新たな活用策を検討すること。</p>	<p>行政へ送付</p> <ul style="list-style-type: none"> ふたえ市民農園の管理棟ボイラーの施設更新において、バイオマスボイラー導入は、木質バイオマスエネルギーの活用において有効であると考えられる。初期投資、維持費、燃料の安定供給など、多岐にわたる観点に立って検討されたい。 	